

对应急语言服务的思考 ——以《疫情防控“简明汉语”》为例

陈安琪

(湖南大学, 湖南省, 长沙市, 410000)

摘要: 新冠疫情的出现, 给全人类带来了巨大的挑战与危机。语言也在这场“战役”中, 发挥着重要作用。首先, 民众需要对这种新型病毒进行认知与了解, 语言承担着科学宣传的职责; 再者, 面对这种突发疫情, 民众的情感方面也会产生一定的波动, 语言疏导与心理救助的需求也随之增加。对于居住在中国的汉语非母语者而言, 如果中文能力不佳, 上述两方面会存在很大的困难, 这也对我国语言服务业提出了新的挑战。由于事发突然, 面对急速广泛传播的疫情, 各项工作都需要争分夺秒, 而短时间内提供准确及时的多语言服务又极其困难, 各国都开始加大对应急语言服务的研究力度。2020年, 我国战疫语言服务团在继《抗击疫情湖北方言通》和《疫情防控外语通》之后, 开发出了第三个新的应急语言产品——《疫情防控“简明汉语”》。《疫情防控“简明汉语”》研制组于2020年2月21日成立。3月12日, 教育部官网发布了这一语言应急产品, 面向在华外国人提供疫情时期的学习, 生活以及应急语言服务。本研究选取该语言产品作为研究对象, 使用中文文章难易度分析工具“汉语阅读分级指南”, 对其研制标准以及例文《不同的人减少感染新型冠状病毒风险的方法》进行考察, 探寻其特征以及对今后的发展进行思考。

关键词: 语言服务; 应急语言; 简明汉语;

中图分类号: H0

文献标识码: A

1. はじめに

1.1 研究背景

改革開放時期から、中国では「言語サービス」の提唱を始めた。グローバル化の影響を受け、国際交流がより頻繁になり、中国での外国在住者も急増してきた。在住外国人の国籍が多く、また、その中国語能力は様々である。一般的な中国語で書かれた情報を理解できない人も多くあり、短時間での多言語サービスの実現が要求される。

近年では緊急時での「応急言語サービス」に関する研究はますます多くなっている。緊急時における迅速な言語サービスは被害を効果的に減らせるため、「応急言語サービス」の重要性は明らかである。2020年の新型コロナウイルスの出現の影響で、中国では「応急言語サービス」に対する需要は大幅に増加している。中国の言語学者はこの状況に応じて複数の応急言語製品を開発した。その中では「簡明漢語」¹の開発が注目されている。しかし、「簡明漢語」に関する研究はまだ初期段階であるため、まだ発展の空間があり、研究し続ける価値がある。

1.2 研究目的

「簡明漢語」の研究は、理論レベルに留まらず、最終的には日常生活の中で実

¹ 中国語では「简明汉语」（簡明な中国語）や「简单汉语」（簡単な中国語）などの呼称が使われており、本稿では「简明汉语」を使うことにする。また、「简明汉语」の日本語訳には「簡明中国語」と「簡明漢語」の2つあるが、本稿では「簡明漢語」と訳す。

用化するため、実際の需要に合わせるものにする必要がある。コロナ時期のさまざまな困難を乗り越え、開発された「簡明漢語」は、最終的には日常生活の中での実用化を実現するように、様々な分野に応用されるように、研究し続ける必要がある。本研究では、コロナ時期に開発された言語製品である『防疫「簡明漢語」』の制作基準と文例を考察することを目的とする。考察から得たことを「簡明漢語」の発展の手掛かりになれば幸いである。

1.3 調査資料

本稿では、中国国内に在住する非母語話者である外国人向け、緊急時で応急共通言語を作る原点から単純化した中国語である「簡明漢語」を焦点に当てる。「簡明漢語」を考察するため、「疫情防控“简明汉语”」（『防疫「簡明漢語」』）における文例「不同的人减少感染新型冠状病毒风险的方法」「新型コロナウイルスの感染リスクを減らすための個人の行動」の原稿と「簡明漢語」版のその部分を抽出した。文字数に関しては、原稿は 2346 字であり、「簡明漢語」版は 2109 字である。

1.4 分析手順

中国語テキスト難易度分析ツール「漢語閱讀分級指難針」（汉语阅读分级指难针）を使用し、定性的な方法と定量的な方法を組み合わせて『防疫「簡明漢語」』用例を分析していく。得られたデータを統計して、特徴を考察する。

2. 「簡明漢語」に関する先行研究

「簡明漢語」は、中国国内に在住する非母語話者である外国人向けの、緊急時で応急共通言語を作る原点から単純化した中国語である。本章では、まず、中国での応急言語研究の必要性について述べる。次、中国での応急言語サービスの発展過程を整理する。最後、新型コロナ時期に注目を集めた応急共通言語である「簡明漢語」の開発についてを紹介する。

2.1 中国での応急言語研究の重要性

中国における外国籍人員数は、第七回の人口調査の結果（2021 年 11 月まで）によると、84.5697 万に至ったことが分かる。在中外国人の数が明らかに増加しているため、言語使用に関する問題も重視すべきである。

李（2021）では、「応急言語」という概念が近年誕生したばかりの原因について以下の三点を指摘した。

- ①過去の緊急対応はほとんど局部的なものであり、過去に遭った災害などの緊急事態が社会全体や全人類に与える影響は、新型コロナウイルスの流行ほど強くないため、言語における問題にそれほど注目されていなかった。
- ②これまでの言語学界は緊急活動との関わりにおいて、主に外国語翻訳に集中していたが、専用の応急言語能力は発展されていなかった。

③情報技術、都市化とグローバル化の急速発展に伴い、現場の情報や緊急救援情報に対するニーズは高まり、国内外への確実で迅速な情報伝達には、言語学や現代言語技術の発展の推進は必要となる。

応急言語サービスの重要性について、陳・湯（2014）では在住外国人を中国社会に溶け込ませるため、どのように中国語教育を行うべきか、どのように私たちの社会や文化に溶け込ませるかという現実の問題を指摘した。そのため、在住外国人が社会に溶け込むための障壁を減らす方法は重要な課題となる。張（2016）では、アメリカ言語サービス団体の発展の特徴を分析し、国の言語力の特徴のひとつは、国語による緊急サービスやアシスタンスサービスを提供できることだと指摘した。滕（2018）では、国内の多言語コミュニティの増加の現状で現実的な需要と、中国での「走出去」（海外に進出する）という戦略の実施で海外にいる国民の保護の必要で、中国での「応急言語サービス」の構築の必要性を指摘した。王（2021）は、新型コロナウイルスの流行の影響を考慮し、言語使用に関する研究の中で進めるべき課題を指摘し、その最初に取り上げたのは応急言語サービスである。

2.2 中国での応急言語サービス

改革開放時期から、中国では経済、外交、科学技術、貿易文化が全面的に発展してきた。言語サービスへの需要に応じて「言語サービス業」は誕生して発展してきた。崔（2019）によると、改革開放以来、中国言語サービス業は「萌芽時期」（1979-1991）、「成長時期」（1992-2002）、「発展時期」（2003-2013）と「繁栄時期」（2014-2019）の四つに分けられる。グローバル化の加速と国際交流の増加のため、中国言語サービス業の規模が拡大し続けている。2008 年の北京オリンピック大会時期、北京外国語大学はオリンピック組織委員会国際連絡部とともに北京オリンピック多言語サービスセンター（北京多言語サービスセンターの前身）を成立し、44 種の言語通訳サービスを提供する。

それに、海外での「応急言語」の発展の影響を受け、「中国での応急言語」に関する研究も近年盛り上がってきた。2020 年初、新型コロナウイルスの流行の問題で、中国国内での「応急言語サービス」の発展を加速化した。CNKI サイトで応急言語を検索すると、前に比べて、2020 年から「応急言語」の研究は著しく多くなってきた。

王・任・孫・蒙（2020）では、「応急言語サービス」の概念を明確にした。応急言語サービスとは、重大な自然災害や公共危機事件の予防と監視、迅速な処理と復興のための緊急救援言語製品、言語技術または言語救援活動への参加である。

王・曲（2020）では、やさしい日本語の経験を参考にして中国国内での「応急言語システム」の構築のため、科学的根拠を持つように基礎研究を推進し、応急言語コーパスの構築をさらに改善し実証研究を進展させ、応急言語の特性研究を工夫し、応用分野を拡大して、そして政府の協力を得て全面的な協力体制を構築するという四つの提案を出した。

2.3 「簡明漢語」の開発

新型コロナ時期において、応急言語サービスに対する需要は急増している。外国人にとって、言葉の壁という問題がますます深刻になっている。汲・李（2020）は応急共通言語としての「簡明漢語」の開発は、コロナ時期流行に対する緊急対応の需要である同時に、中国での応急言語の発展にも役に立つことを強調した。それに、中国にいる外国人に迅速に緊急情報を提供することは必要である同時に、中国語読解能力がまだ低い民衆と非母語話者への配慮も必要であるため、「簡明漢語」で緊急情報を伝えることにさらに関心をよこすべきである（李・饒 2020）。

2020 年初、中国言語学者と企業は教育部言語文字情報管理局と国家言語委員会からの指導のもとに、「防疫言語サービス団体」を結成し、知識を武器にして新型コロナとの戦いを始め、複数の応急言語製品を開発した。具体的には「防疫湖北方言通」、「防疫外国語通」と『防疫「簡明漢語」』の三つである。（《抗击疫情湖北方言通》、《疫情防控外语通》、《疫情防控“简明汉语”》）2020 年 2 月 27 日から、北京語言大学言語資源先端創新センター（北京語言大学言語資源高精尖创新中心）と北京大学对外中国語教育学院（北京大学对外汉语教育学院）等は、『防疫「簡明漢語」』の開発を着手し、3 月 12 日から中国教育部の公式サイトで掲載されている。

『防疫「簡明漢語」』は簡単明瞭な中国語で在中外国人に新型コロナウイルスに関する情報を紹介している。適用する対象は漢語レベルは HSK4 級及びそれ以上（1200 個語彙程度）に至った在中外国人である。

3. 『防疫「簡明漢語」』の特徴に対する考察

3.1 制作基準について

『防疫「簡明漢語」』の制作基準に関しては、語彙と文法の二つの側面に分けている（李・趙・赫 2020：27－28）。以下では『防疫「簡明漢語」』における制作基準と文例を考察する。

A. 語彙面：

① かたい言葉を普通の会話で使える言葉に変える。

中国に生活している外国人はかたい言葉より、日常生活によく使われる言葉に詳しい。そのため、普通の中国語を「簡明漢語」を書き換える時には、かたい言葉をよく使う、よく言う言葉に書き換えることは明らかに見える。

例²：

² 本節の例文は「防疫『簡明漢語』」（http://www.moe.gov.cn/s78/A19/A19_ztzt1/ztzt1_yywfzw/yingji）

防护指南→办法 居室→房间

② 俗語、ネット上の流行語、成語などを一般用語に変える。

俗語、ネット上の流行語と成語は文化的知識が豊富に含まれているため、それに詳しくない外国人にとっては中国語学習の困難点である（白, 2020）。そのため、簡明漢語を作成する時には一般用語で意味を直接に表す必要がある。

例：

重中之重→非常重要

③ 方言は標準語に変える。

『中国言語文字概況報告』によると、漢語方言を大きく分けると、十種の方言に分けられる。それぞれの方言圏にはさらに様々な種類に分けられる。（中国教育部, 2021）地方によって方言には大きな違いがあるため、中国語における様々な方言は漢語母語話者にも理解しにくい、漢語非母語話者にとっては一層難しくなる。したがって、「簡明漢語」には方言の使用を避けるべきである。

④ 略語は原語のままで表記する。

例：

抵穗→到广州

例における「穗」のように、中国の各省や各省都では「略称」がある。このような知識に詳しくない漢語非母語話者にとって、略称を使用した文は理解しにくい。そのため、広く適用されている「广州」に書き換えると、漢語非母語話者にとって理解しやすくなる。

⑤ 擬音語、同音異義語、類義語のような誤解されやすい言葉は避ける。形容詞の重ね型のような表現、轻声、卷舌音化した語は基本的に使用しない。

メッセージを明確に伝えるため、擬音語、同音異義語、類義語のような間違いやすい言葉や、形容詞の重ね型のような表現、轻声、卷舌音化した語のような特有な言語表現シンプルにすることも必要である。

⑥ 抽象的な言葉は、例によって説明する。

例：

如果你去过疫情严重的地方，或跟病人见过面，那么你就是高危人员。

「高危人员」は「ハイリスクを持つ人員」の意味であり、漢語非母語話者にとって理解しやすくなるため、具体的に「疫病の状況の厳しいところに行ったこと」と「患者とあったことある」の例を挙げてを説明した。

⑦ 単音節の単語を二音節に変える。二音節の動詞を単音節の単語や多音節の形に変える。一部の3音節の名詞は多音節に変える。

例：

较→比较 且→并且 独处→一个人的时候

⑧ あいまいな意味を持つ言葉の使用は避ける。

例：

大约、尽量

上記の単語の意味は「約」と「できるだけ」の意味であいまいな表現である。

Rosenshine (1968) によると、あいまいな単語の過度使用は文章の難易度を上げることと指摘した。漢語非母語話者の誤解のないように、このような言葉を避け、意味を明確にすることとする。

⑨ 単語と漢字の選択。

(1) 使用する単語の基準は HSK4 級以内。

(2) HSK4 級 1,200 語で原文の単語の約 8 割を置き換えることができる。HSK1～4 級の用語で要領外単語を説明する。また、固有名詞リストと流行語リストを添付する。

(3) 漢字は HSK4 級まで。

「HSK4 級以内」という基準によって、「簡明漢語」版文章に使われる「簡単な単語と漢字」における「簡単」の定義を具体化して、語彙力がまだ不足している漢語非母語話者にも、「簡明漢語」への書き換える作業をする漢語母語話者にも役に立つ。

語彙面に関する基準の特徴をまとめると、相手の『よくわからない言葉』を避けて、「よりよく知っている」言葉に変えることである。HSK レベルの高い単語や漢字、かたい言葉、成語、母語話者に詳しい俗語とネット上の流行語などの言葉は、非母語話者にとって不慣れである可能性があるため、そのような言葉を日常的なより一般的に使われている言葉に変えると、理解しやすくなる。

新型コロナウイルス状況で開発された『防疫「簡明漢語」』は、語彙や文法を「簡明漢語」に書き換える原則をまとめ、工夫を凝らして語彙と文法の側面から普通の中国語で書かれた文例を「簡明漢語」に書き換えた。だが、緊急事態で製作時間が少ないため、まだ改善できる空間がある。それに、想定されている応用場面はまだ伝染病の緊急時に限られ、関連実践があまりにも少ない。本稿では、「漢語国際教育用音節漢字語彙等級分類」(2010)と「国際漢語教学通用要領」(2008)を基準とした中国語テキスト難易度分析ツール「漢語閲読分級指難針」(汉语阅读分级指难针)³を使用し、『防疫「簡明漢語」』における文例を分析して改善すべき点を考察していく。「漢語閲読分級指難針」で「不同的人减少感染新型冠状病毒风险的方法」「新型コロナウイルスの感染リスクを減らすための個人の行動」という文例の語彙と文字の難易度を分析すると、以下のような結果である。

³ 「漢語閲読分級指難針」(languageagedata.net/editor)は、金檀、陆小飞、林筠、李百川が共同開発した文章の読解難度採点および書き換えるシステムである。

表 3.1 「簡明漢語」文例の文字難易度

	文字数	割合 (%)	累計割合 (%)
初級	1497	86.23	86.23
中級	161	9.27	95.51
高級	69	3.97	99.48
上級より難しい	8	0.46	99.94
要領外	1	0.06	100
総計	1736	100	100

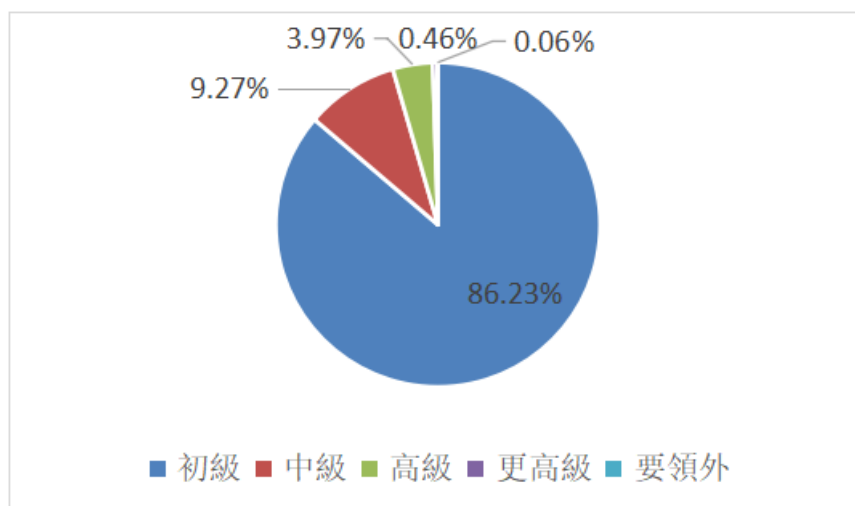


図 3.1 『防疫「簡明漢語」』文例の文字難易度

表 3.2 『防疫「簡明漢語」』文例の単語の難易度

	語彙数	割合 (%)	累計割合 (%)
初級	587	61.99	61.99
中級	82	8.66	70.64
上級	57	6.02	76.66

上級より 難しい	8	0.84	77.51
固有名詞	3	0.32	77.82
要領外	210	22.18	100
総計	947	100	100

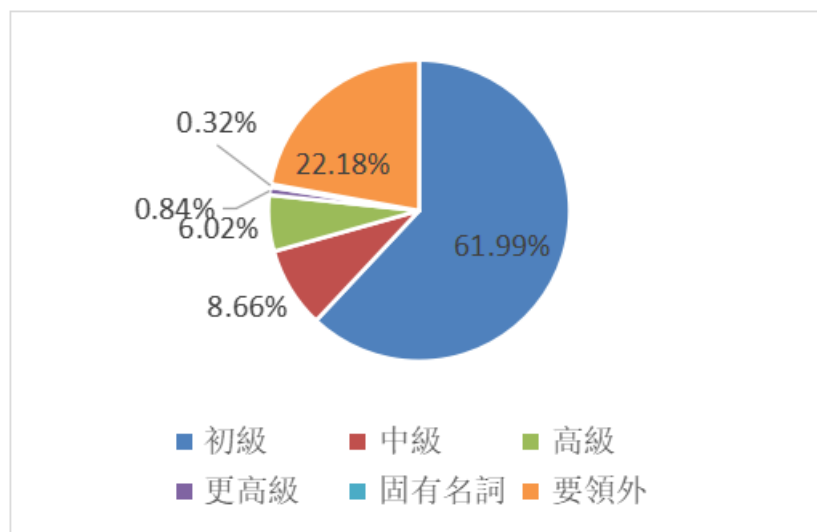


図 3.2 『防疫「簡明漢語」』文例の単語の難易度

表 3.3 『防疫「簡明漢語」』文例の単語の HSK レベル

HSK レベル	語彙数	割合 (%)	累計割合 (%)
一級	233	24.60	24.60
二級	75	7.92	32.52
三級	109	11.51	44.03
四級	96	10.14	54.17
五級	33	3.48	57.66
六級	41	4.33	61.99
要領外	360	38.01	100
総計	947	100	100

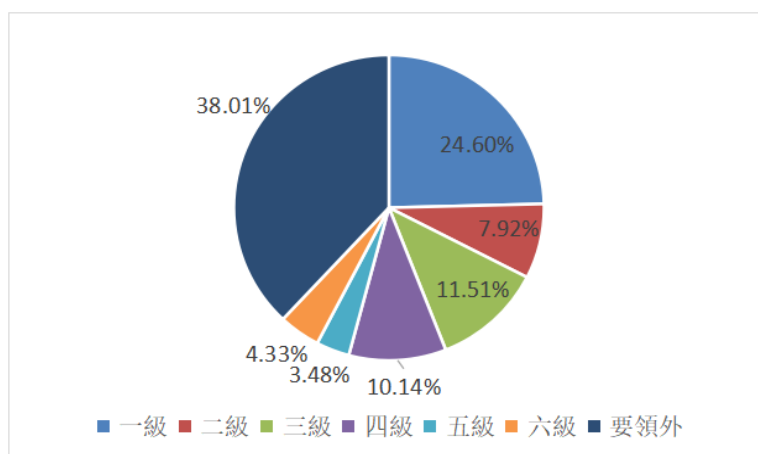


図 3.3 『防疫「簡明漢語」』の単語の HSK レベル

各難易度の比率によると、「簡明漢語」版文例に使われている語彙と文字の難易度は主に初級であることが分かる。しかしながら、基準である HSK4 級以内の語彙は約 55% を占め、基準外とされた語彙は約 45% ことが分かる。では、要領外語彙や上級語彙を具体的に統計して考察していく。

例：要領外語彙：

新型冠状病毒、本办法、温泉、门窗、展览馆、浴池、洗手、体温计、口罩、也是、弄脏、去过、保护好、上厕所、遮住、香皂、不知道、不干净、鼻、分泌物、开窗、生活习惯、垃圾桶、做好、不舒服、打喷嚏、咽痛、胸闷、呼吸困难、拉肚子、结膜炎、酸痛、坐地铁、影院、一个人、居民委员会、村民委员会、医学观察、交通工具、纸巾、得病、离开后、很多、其他人、便携式、在路上、餐具、弄湿、防护服、工作帽、过滤式、呼吸器、滤毒罐...

上級語彙：

感染、普通人、亲戚、气味、通风、干燥、咳嗽、流水、整洁、体温、防护、发热、公共场所、隔离、武装、温泉、丢掉、标本、采集、生物...

HSK4 级以上レベル及び級外語彙：

新型冠状病毒、风险、本办法、隔离、门窗、展览馆、体温计、洗手、口罩、洗手液、感染、风险、关闭、码头、动力、遮住、消毒、接触、生活习惯、饭馆、KTV、商场、车站打喷嚏、纸巾、咽痛、胸闷、保护好、呼吸困难、恶心、呕吐、疾病、得病、去过、武装、人数、交通工具、便携式、公共、影院、居民委员会、村民委员会、医学观察、每天、不见、医用、防护服、变形防护、穿上、戴上、动力送风、呼吸器、牙刷、手套、长袖、加厚、围裙、防水、消毒剂...

『防疫「簡明漢語」』における例文は新型コロナウイルス時期用の文章であるため、「新型冠状病毒」（新型コロナウイルス）「隔离」（隔離）「口罩」（マスク）「感染」（感

染)のような防疫に関する固有名詞や専門用語が多いことが見られる。一方、制作原則には難しい単語には説明を添付することがある。

例：关闭 guān bì: 关着。

气味 qì wèi: 味道。

遮 zhē: 放在上面，别人看不到。

登记 dēng jì: 把自己的名字写在纸上。

牙刷 yá shuā: 刷牙用的东西。

香烟 xiāng yān: 抽烟的东西。

餐具 cān jù: 吃饭用的东西。

毛巾 máo jīn: 洗脸用的东西。

床上用品 chuáng shàng yòng pǐn: 放在床上的东西。

「ピンイン」と簡単な中国語での語釈を付けることで、読者は単語の読み方と具体的な意味を知ることができる。しかしながら、語彙分析結果の表と比べると、難しい単語のうち、説明が付いているのは一部だけであることが分かった。そのため、文例の最後には、防疫に関する用語表と固有名詞表を添付している。読み方である「ピンイン」と英語説明があるため、英語母語話者にとっては分かりやすい。しかし、英語非母語話者のための対策を考えなければならない。

それに、添付されている表における単語は主に「新型冠状病毒」(新型コロナウイルス)「咽痛」(喉の痛み)「呕吐」(嘔吐)のような疫病に関する語・「口罩」(マスク)「体温计」(体温計)のような防疫に関する語・「码头」(港)「展览馆」(展示館)「教育部」(教育部)「xx 微信小程序」(xx ウェイチャットミニプログラム)などの固有名詞であるが、級外語彙における「做好」「弄脏」「去过」「保护好」などの「動詞」＋「結果補語」の構造を注意すべきである。結果補語とは動詞の後ろに形容詞や動詞を置いて、前の動詞の動作の結果がどうなったかを言い表す形である。このような構造では最終至った段階についての補充説明である。中国語では、動詞の後に「程度補語」「様態補語」「方向補語」を置く構造がさまざまであるため、非母語話者にとっては複雑で理解しづらいため、避けることは必要である。

例：「動詞＋完・掉・全・」：～てしまう 「動詞＋好」：～ておく

「動詞＋脏」：～して～を汚す 「動詞＋湿」：～して～湿す

それに、原則にしたがって「簡明漢語」文例にあらわれた多くの単音節名詞・二音節名詞・三音節名詞の書き換え作業をしたのが、書き換えた単語の難易度をチェックする必要がある。

例：

普通版：不确定手是否清洁时，避免用手接触口鼻眼。

「簡明漢語」版：如果不知道手干净还是不干净，不要用手接触口、鼻、眼。

普通版における「口鼻眼」を分け、「口、鼻、眼」に書き換えたことが分かる。しかしながら、「簡明漢語」版例文における「鼻」は級外語彙であるが、二音節語彙「鼻子」は HSK2 級語彙である。そのため、さらに書き換える必要がある。

また、水を使わない「手ピカジェル」に関する固有名詞の書き換えについては、普通版に使われた「免洗手液」を「不用水的洗手液」（水を使わないハンドソープ）と書き換えたが、「便携式洗手液」（持ち運びやすいハンドソープ）をそのまま使われていることになっていた。このような商品名や固有名詞などの書き換え問題についても検討する空間がある。

B. 文法と語用面

①原文と完全に一致しなくてもよい。原文の意味に応じて書き換えたり、言い換えたり、修正したりしてもよい。

例：

不串门 少出门 戴口罩 不聚集 勤洗手 多通风 强营养 多运动 早发现 早报告

早隔离 早治疗 不信谣 莫慌张 听指挥 打胜仗

→出门戴口罩，不去人多的地方，多洗手，多通风，多运动，多吃健康食物。生病之后快去医院，隔离，治病。

返乡先隔离 亲人都爱你→其他地方回来，自己在家隔离。

「簡明漢語」の制作規則を統一するため、基準を設定することが必要であるが、コード制限しすぎて応用が逐語訳的な書き換え方法にならないように注意をはらうべきである。それに、言語表現より意味が大事であるため、文における情報を正確に伝えれば、原文と完全に一致しなくてもよい。

②文章はできるだけ短く、長い文章を短い文章にする。

『防疫「簡明漢語」』における「簡明漢語」版 14 件の文例と普通版の文章の文字数を対比すると、「簡明漢語」版文字数は普通版より少ないことが分かる。

例：

保持室内空气流通，避免到人口密集地。→房间里，多开窗，多通风。

普通の中国語版の二つの長文を三つ短文に分けられ、まずは「場所」である「房间里」を強調する。それから、文における中心情報である「室内換気への注意」を「多开窗」「多通风」の命令文に書き替え、指示を明確に示す。

③できるだけ簡単な平叙文、並列文、条件文などだけ保留する。

例：

妥善保留赴流行地区时公共交通票据信息，以备查询。→留着所有车票。

④一文で1主語+1述語のセットで、一つの情報を提供する。

例：

做好个人防护和手卫生。→保护自己，多洗手。

「做好个人防护和手卫生」（个人防护と手の衛生管理をしっかりする）を「保护自己」（自らを防護する）と「多洗手」（手を洗う）の二つの文に分け、一つの文で一つの指示を示すことにする。

⑤長い修飾語の使用を避ける。名詞や代名詞を修飾している長い文は、節に変更する、あるいは元の修飾要素を取り除く必要がある。

例：

医学观察期限为自最后一次与病例、感染者发生无有效防护的接触后14天。

→从最后一次与病人接触开始，在家隔离14天。

基準②③④⑤では文の長さに関する基準を述べている。李（2000）によると、文の長さは文章の読みやすさに影響している。難しい文章には複雑な長文が多くあるため、読解はレベル高い読解力を要求している。よって、長文の使用を避けることは必要となる。

⑥受動文を能動文に変更する。

中国語における受け身表現には、多く「被」「让」「叫」という介詞を使用する。A+被「让」「叫」+「B」+「動詞」+「補足説明」の構造で「AはBに～される」の意味を表す。以下の例文のように、『防疫「簡明漢語」』における文例は受動文型を書き換えている。

例：

不让病毒进咱村。（ウイルスの進入にされないようにしてください）

→远离病毒。（ウイルスを離れてください）

⑦時間的な流れを逆にさかのぼって叙述することや叙述の場面を切り替えてほかの筋を挿入することを避ける。

⑧否定形を肯定形にする。二重否定、反語文、自問自答文、感嘆文は避ける。

基準⑥⑦⑧ではあいまいさを残し、回りくどい表現である文型と叙述の使用を制限した。その点を避けるため、直接的に意味を表現する肯定形を使用した方がよいであろう。それに、緊急時に重要な情報の伝達を重視する応急言語の特徴によって、強烈的な感情などの主観意識を表す感嘆文も必要ではない。

しがしながら、文章における否定形はまだ多くあることが見られる。特に、命令文の使用がよく見える。

例：

- ① 不去人多的地方。（人が多いところに行かないでください）
- ② 不见朋友。（友達と会わないでください）
- ③ 不要和其他人距离太近。（ほかの人に近づかないでください）

実際の使用は作られた基準と異なっても、意味を明確に表現するのであれば、文例のように、否定形を使ってもよい。全部の否定形を肯定形に変えなくてもよい場合がある。そして、逆に変えたら理解しにくい場合もある。否定形は間違った行為を挙げたが、正しい行為も挙げた方がよいと思われる。

⑨文体は中性であり、内容に応じて書き言葉と話し言葉を調整する。

初級レベル以内の対外中国語教育では主に中性的な文体を焦点に当てており、書きことばと話し言葉の典型例の学習が中級、上級レベルの内容における（汲・李, 2020）。したがって、書きことばと話し言葉より、中性的の文型を使用することは非母語話者にとって理解しやすい。

例：

把路口，测体温，不让病毒进咱村 → 路口停下，检查体温，远离病毒。

⑩決まり文句を削除する。

決まり文句とは内容がだいたい決まっているフレーズ、いわゆる「定例句」である。張（2020）では、内容より形式を主義を重視する決まり文句が意味もなく、定常的な言葉になって創造力のない表現であることを指摘した。決まり文句の使用を削除ことは、作者側の作業難易度も読者側の読解力における中心情報だけ集中することで、中国語能力不足の読者でも文におけるポイントを絞ることができる。

例：

为全力做好疫情防控工作,切实保障人民群众生命安全和身体健康,维护公共利益,根据《中华人民共和国传染病防治法》《中华人民共和国突发事件应对法》等法律规定,按照广东省重大突发公共卫生事件一级响应要求,现就有关事项通告如下。
→ 为了您的安全和健康,根据国家的法律,广州市提出以下要求。

⑪文法はなるべく HSK4 級レベル以内のものを使用する。

語彙面と同じ、「簡明漢語」における文法も「HSK4 級レベル以内」という具体的な範囲を設定した。

⑫完成された文章は理解しやすくすべきである。方言やなまりのある共通語と外国語が混じり合った言葉にならないように注意すべきである。

普通の中国語を「簡明漢語」に書き換える作業は、文章の難易度を下げて読みやすくすることを目的としている。しかし、不自然な中国語にならないように、完成された「簡明漢語」文章の言葉遣いや言語表現をチェックすることが大事である。

近年あらゆる分野で中国の躍進が注目されており、様々な研究成果で中国の科学技術力を表している。短時間で開発された『防疫「簡明漢語」』も中国言語学界の行動力と研究開発力を世界にアピールした。普通の中国語より、製作基準によって「簡明漢語」版文章を作成するのは言語面の難易度がさげられるため、非母語話者にとって理解しやすいことが分かる。

4. おわりに

本研究では『防疫「簡明漢語」』の製作基準と実用例を考察した。「簡明漢語」の研究の発展スピードが速く、短時間で『防疫「簡明漢語」』のような研究成果もできた。基準によって書き替えた「簡明漢語」版文章は非母語話者にとって役に立つのは確実であると見える。以下では、「簡明漢語」今後の発展に対して、いくつかの提案を出す。

まず、文例におけるレベル外の単語も多くあることに対して、実際に「簡明漢語」版文章を作成する時には語彙と文法の難易度への注意をより多くはらうべきである。専門用語などの単語を簡単な単語に書き換えたら理解しやすくなるが、固有名詞などの書き換え問題や変えられない言葉への対策を探すため、研究し続ける価値がある。

また、『防疫「簡明漢語」』適用する対象は漢語レベルは HSK4 級及びそれ以上に至った在外国人であるため、基準では使われる語彙は HSK4 級以内の語彙とされた。これから「簡明漢語」の適用対象の範囲をより広くするように、それに選定したことの妥当性を再検討する必要がある。

そして、『防疫「簡明漢語」』の用例における難しい単語に関する注釈を増やす必要がある。「動詞」＋「補語」や複合名詞のような複雑な文法と単語をさらに簡単化する必要がある。それに、基準には否定形を肯定形にすると規定されたが、否定形を使用してもよい場合もある。

一方、母語話者側の意識も大事である。応急言語としての「簡明漢語」だけではなく、普通の会話でも使用できる地域共通言語としての「簡明漢語」を推進するため、外国人側の中国語習得だけではなく、母語話者側からの努力も求められる。

そのほか、新型コロナウイルスの状況下で「簡明漢語」の言語面の基準は細かく制定されたが、。よりよい情報伝達効果を実現するため、中心情報の強調、内容の加減などの内容面と文章のレイアウトなどの伝達面への配慮も必要なのである。

「簡明漢語」は応急言語サービスのため誕生したものであるため、災害・疫病に関する内容に集中している。文法と語彙などの言語面の基準を明確にしたが、コロナ時期だけではなく、日常生活にもこれから様々な分野に生かせられるように、日常生活の多くの場面

に適用できる規則を考えなければならない。本研究では、「簡明漢語」の実用化に対してさらに具体的な実施策などについてはあまり触れていないため、今後、海外での応急言語研究や応急言語製品を考察し、それによって得られた経験を「簡明漢語」に活かして、「簡明漢語」の運用に多様で具体的な施策を提出することを目指している。

参考文献

- [1] 陈林俊, 汤滨. 2014. 日本的简化日语研究[J]. 教育评论. (09):156-158.
- [2] 陈林俊. 2020. 当代日本灾害应急语言服务研究[J]. 语言文字应用. (02):69-78.
- [3] 崔启亮. 2019. 中国语言服务行业 40 年回顾与展望(1979-2019)[J]. 译苑新谭. (02):108-114.
- [4] 戴曼纯. 2011. 国家语言能力、语言规划与国家安全[J]. 语言文字应用. (04):123-131.
- [5] 顾晶妹. 2020. 日本灾害应急语言服务的实践与启示[J]. 浙江师范大学学报(社会科学版). 45(04):10-18.
- [6] 汲传波, 李宇明. 2020. 《疫情防控“简明汉语”》的研制及其若干思考[J]. 世界汉语教学. 34(03):311-322.
- [7] 李绍山. 2000. 易读性研究概述[J]. 解放军外国语学院学报, 2000(04):1-5.
- [8] 李宇明, 赵世举, 赫琳. 2020. “战疫语言服务团”的实践与思考[J]. 语言战略研究. 5(03):23-30.
- [9] 李宇明. 2021. 语言应急说[J]. 语言政策与规划研究. (02):1-2.
- [10] 李宇明, 赵世举, 赫琳. 2021. 抗疫中的语言服务实践与思考[C]. 语言生活皮书——中国语言生活状况报告(2021):66-70.
- [11] 曲殿宇, 孙美玉, 王琦, 侯慧宇. 2018. 论来华留学生学习汉语的难点及对策[J]. 齐齐哈尔大学学报(哲学社会科学版), (07):177-178.
- [12] 滕延江. 2018. 美国紧急语言服务体系的构建与启示[J]. 北京第二外国语学院学报. 40(03):31-43+128.
- [13] 王辉. 2021. 新冠肺炎疫情影响下语言应用研究的五大任务[J]. 青年记者. (18):5.
- [14] 王娟, 曲志强. 2020 “简易日语”与救灾应急[J]. 语言战略研究. 5(05):57-66.
- [15] 王立非, 任杰, 孙疆卫, 蒙永业. 2020. 应急语言服务的概念, 研究现状与机制体制建设[J]. 北京第二外国语学院学报. 42(01):21-30.
- [16] 姚艳玲. 2021. 日本“平易语言”政策及应急语言特征研究[J]. 日语学习与研究. 05:21-28.
- [17] 张天伟. 2016. 美国国家语言服务团案例分析[J]. 语言战略研究. 1(05):88-96.
- [18] 张洋. 2017. 套话的特征及原因探析[J]. 鞍山师范学院学报, 19(03):45-48.
- [19] 郑方. 2019. 浅论简明英语原则在对外汉语教学中的应用[J]. 科技风. (32):54-55.
- [20] 周小兵, 薄巍, 王乐, 李亚楠. 国际汉语教材语料库的建设与应用[J]. 语言文字应用, 2017, (01):125-135.

Reflections on Emergency Language Services --the case of "concise Chinese for Fighting Epidemic "

Chen Anqi

(Hunan University, Changsha /Hunan, 410000)

Abstract: The emergence of COVID-19 has brought great challenges and crises to all of humanity. Language also plays an important role in this "battle". First of all, the public needs to recognize and understand this new virus, and language assumes the responsibility of scientific propaganda; second, in the face of such sudden negative events, the people's emotional aspects will also be affected, and the demand for language counseling and psychological assistance will also increase. For non-native speakers living in China, if the Chinese ability is not good, there will be great difficulties in the above two aspects, which also poses a new challenge to the service industry of Chinese. Due to the suddenness of the situation, in the face of the rapid and widespread epidemic, all work needs to race against the clock, and it is extremely difficult to provide accurate and timely multilingual services in a short period of time, and countries have begun to increase their research on emergency language services. In 2020, following "Hubei Dialects Glossary for Fighting Epidemic", "Foreign Language Glossary for Fighting Epidemic", "Epidemic Language Service Corps" developed the third new emergency language product "concise Chinese for Fighting Epidemic". The development team was established on February 21, 2020. On March 12, the Ministry of Education released this language emergency product on its website to provide language services to foreigners in China for learning, living, and emergency situations during the epidemic. this analysis selected this language product as the research object, and used the Chinese article difficulty analysis tool "Chinese Difficulty Indicator" to investigate its development criteria and the example article "Methods to reduce the risk of COVID-19 infection in different people", to explore its characteristics and to make suggestions for improvement.

Keywords: language services; emergency language; concise Chinese;

作者简介: 陈安琪，湖南大学外国语学院，硕士在读